

自立支援のためのノーリフティングケア ～心地よさをもたらす移動支援とポジショニング～



松田 友美

山形大学大学院医学系研究科看護学専攻 在宅看護学分野教授

【学歴】

2004年 山形大学医学部看護学科卒業（看護学学士）
2006年 山形大学大学院医学系研究科看護学専攻修了（看護学修士）
2011年 山形大学大学院医学系研究科医学専攻修了（医学博士）

【職歴】

1992年～2002年 山形市立病院済生館看護師として10年勤務
2006年 山形県立保健医療大学保健医療学部助手
2007年 山形大学医学部看護学科助教
2014年 同大学准教授
2017年～ 現職

【研究分野】

褥瘡予防・治癒促進のための看護ケア開発の基礎研究として解剖学、組織学的、分子生物学的研究
褥瘡予防のためのポジショニング、ノーリフティング支援、栄養支援のためのコホート研究等

【資格・社会貢献】

日本褥瘡学会褥瘡認定師（看護師） 日本栄養治療学会（JSPEN）NST 専門療法士
日本褥瘡学会評議員
看護理工学会理事
コ・メディカル形態機能学会役員

〔身体障がい領域〕

1日目 13:00 ～ 16:00

第3回 山形県作業療法学術研修大会

摂食・嚥下機能の評価とアプローチ

～食べることへの関わり～



神作 一実

文京学院大学保健医療技術学部学部長 保健医療科学研究科 研究科委員長

【略歴】

杉並区立たんぽぽ園

早稲田医療技術専門学校 作業療法学科 専任教員

専門学校東京医療学院 作業療法学科 専任教員

文京学院大学 保健医療技術学部 作業療法学科、保健医療科学研究科 教授

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議委員

日本作業療法士協会 専門作業療法士（摂食嚥下）、日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士
博士（歯学）

【専門分野】

発達障害領域の作業療法・摂食嚥下リハビリテーション

【著書】

臨床作業療法 NOVA19 巻2号 摂食嚥下障害の作業療法 評価ガイド 青海社 2022

作業療法学ゴールドマスターテキスト 改訂第3版 発達障害作業療法学 メジカルビュー社 2021

臨床作業療法 NOVA18 巻2号 小児領域における摂食嚥下障害と作業療法 青海社 2021

安全で楽しくおいしい食事 小児リハビリテーション vol.9 2021

小児の摂食・嚥下リハビリテーション 第2版 医歯薬出版 2014 など

【メッセージ】

食べることは、人にとってとても大切な「意味ある作業」です。でも、障害を負うと「食べること」は容易に障害を受けてしまいます。食べることは、おいしい体験とともに、他の人と楽しい経験を共有することにつながっています。作業療法士は心身機能・構造、活動、参加、環境因子のすべての評価と介入ができる唯一の職種です。みんなを対象者の「安全で楽しくおいしい食事」を一緒に考えてみませんか？きっとOTが食べる機能にアプローチをしなければならない理由が明確になると思います。

認知症の人の BPSD 対策と家族支援

上城 憲司



宝塚医療大学和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻 教授

【略歴】

福岡県生まれ。1995年に赤十字社今津赤十字病院に入職し認知症治療病棟、重度認知症患者デイケア、訪問リハビリテーション等の現場において作業療法士の業務に従事した。

2007年に西九州大学リハビリテーション学部に入職、2020年より宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻に教授として入職、現在は作業療法士養成教育の業務に従事している。

主な研究テーマは「認知症の人のリハビリテーション」「家族介護の支援」等である。現在は、和歌山県を中心とした認知症予防・認知症カフェ事業等の地域活動をフィールドワークとしている。

【専門分野】

高齢期作業療法（専門作業療法士：認知症）

子どもの行動を読み解く視点

～行動の背景にある「意味」に向ける支援とは～



仲間 知穂

作業療法士 YUIMAWARU 株式会社 代表

【略歴】

東京都立保健科学大学を卒業後、リハビリテーション病院で6年間勤務。その後、琉球リハビリテーション学院で7年間教務を担当。2009年からボランティアで学校作業療法を開始し、2016年にYUIMAWARU株式会社を設立。2020年に福祉型児童発達支援センター「こどもセンターゆいまわる」を沖縄県南風原町に開設。

【専門分野】

地域と行政が連携して子育てや教育の課題解決に取り組み、親子通園事業や学級経営コンサルティングなども実施。また、福祉や医療が不足する過疎地に技術を提供する「島プロジェクト」を立ち上げ、現在与那国島で実施中。特別支援学校への外部専門家としてもアドバイスをを行い、全国で年間30回以上の講演活動も行っている。さらに、2018年から2021年まで琉球大学と産学官協働でインクルーシブ教育推進の人材育成に尽力。著書は『学校に作業療法を』『届けたい教育をみんなに』

はじめてのマインドフルネス



江崎 浩明

(仙台医療センター 公認心理師)

【略歴】

仙台医療センター メンタルヘルス相談室 公認心理師

Alt-Stance および 仙台マインドフルネスオフィス代表

大学で情報学、大学院で心理学を専攻。

病院・企業での相談業務や研修、医療従事者養成校での講師業務に従事。

IMA /IMCJ 認定 MBSR（マインドフルネスストレス低減法）/MBCT（マインドフルネス認知療法）講師

<https://mindfulness-sendai.altstance.com/profile>

【専門分野】

産業臨床、働く人のメンタルヘルス支援、心理的安全性、マインドフルネス